

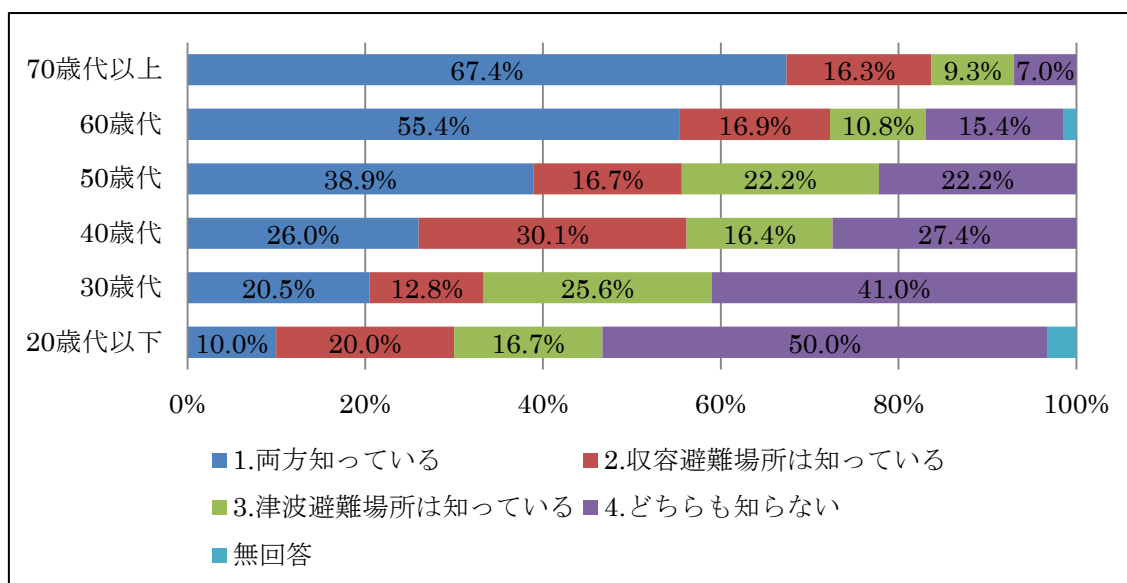
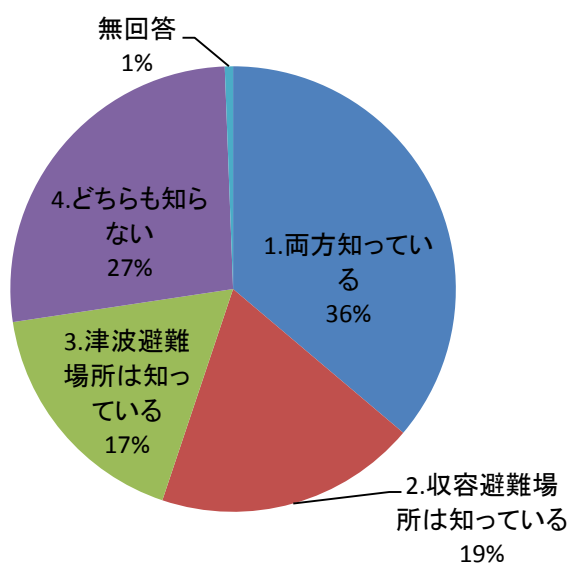
【調査結果】

I 安全安心まちづくりについて

問1 あなたは、ご自身の避難施設（収容避難場所・津波避難場所）をご存知ですか。（1つ選んでください）

1. 両方知っている【124】 2. 収容避難場所は知っている【65】
 3. 津波避難場所は知っている【60】 4. どちらも知らない【92】 無回答【2】

n=343

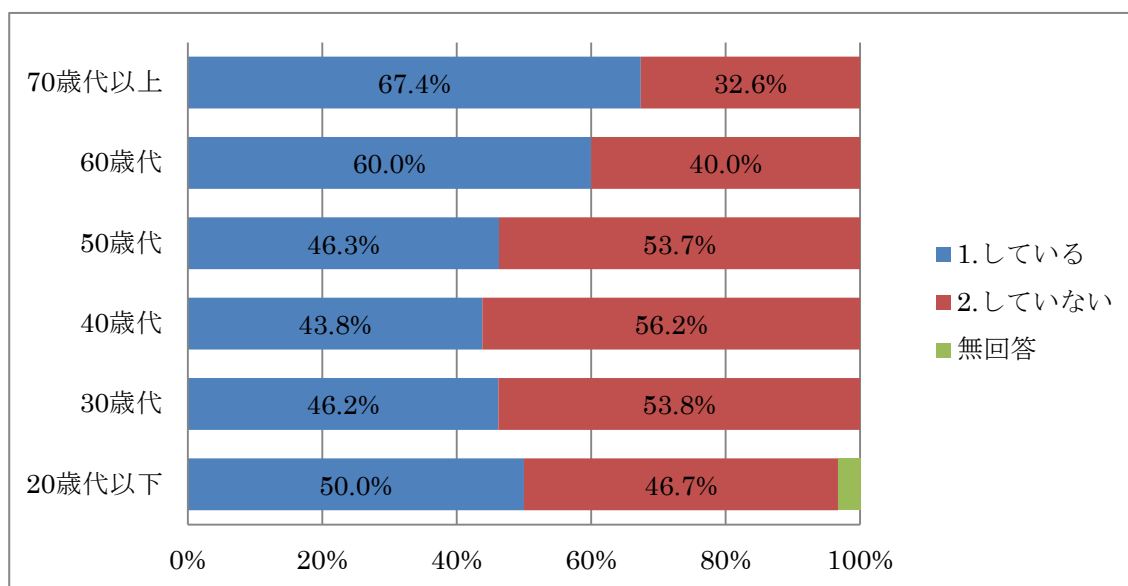
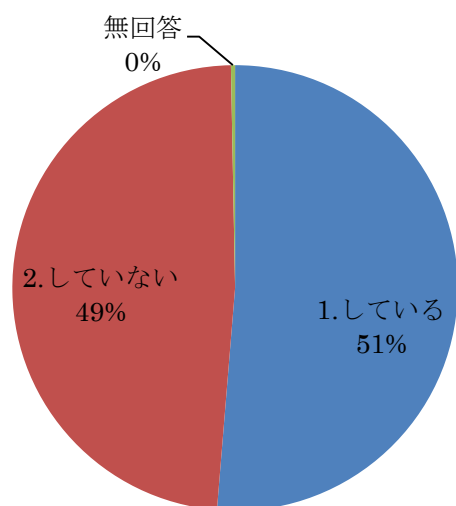


【分析・コメント】

- ・ 収容避難場所と津波避難場所について、「両方知っている」は36.2%となっています。
- ・ 年代別にみると、年代が低くなるほど認知度が低くなるという傾向が見られます。
- ・ 防災訓練への参加等についても若い世代の方の参加が低い傾向にあり、今後、若い世代の防災意識の向上を図るため、関心を持ってもらえるような事業展開を進める必要があります。

問2 あなたは、大地震等災害に対して、自宅等で何か備えをしていますか。
 (例：持出袋、水等) (1つ選んでください)

1. している【176】 2. していない【166】 無回答【2】 n=343

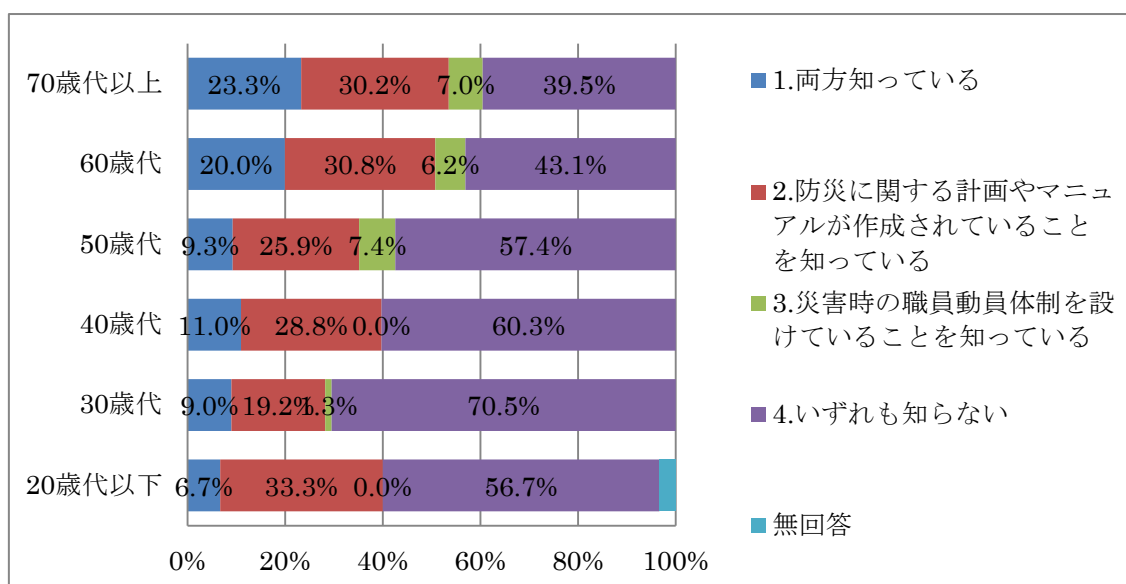
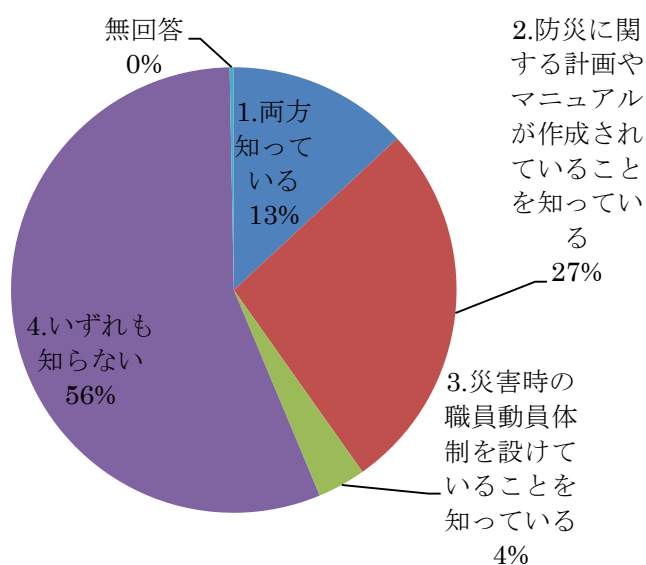


【分析・コメント】

- 大地震等への備えを「している」と「していない」の割合が拮抗しています。肯定的意見（「している」）の割合が過半数であるものの高いとはいえないため、区民への周知がまだ不十分であるといえます。
- 年代別にみると、「している」割合が最も小さいのは「40歳代」の43.8%で、これを底として、年代が高くなるほど（低くなるほど）その割合が大きくなる傾向があります。
- 災害に対しては様々な備えが必要である中、今後、幅広い世代において、備えをしている割合を一層増やすとともにより適切な備えが行われるよう、広報活動の充実等効果的なPRも含めた取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問3 あなたは、区役所で、防災に関する計画やマニュアルが作成され、災害時の職員動員体制が設けられていることをご存知ですか。(1つ選んでください)

- 1. 両方知っている【45】
 - 2. 防災に関する計画やマニュアルが作成されていることを知っている【93】
 - 3. 災害時の職員動員体制を設けていることを知っている【12】
 - 4. いずれも知らない【192】 無回答【1】
- n=343



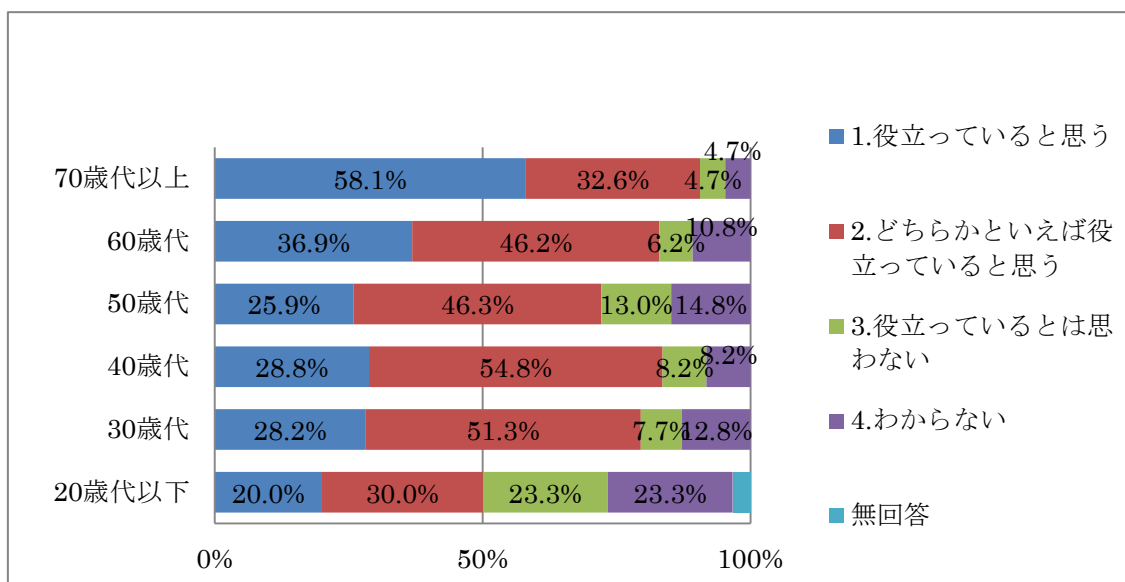
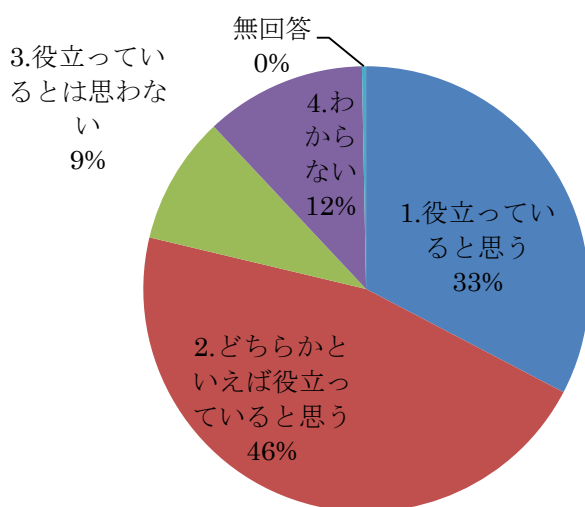
【分析・コメント】

- 肯定的意見（「両方知っている」「防災に関する計画やマニュアルが作成されていることを知っている」「職員動員体制を設けていることを知っている」）の割合は43.7%となっています。また、「いずれも知らない」が過半数を占めていることから、周知がまだ不十分であるといえます。
- 年齢別にみると、この割合が最も小さいのは「30歳代」で29.5%です。年代が上がるほど、その割合が大きくなっています。
- 今後、幅広い世代において、計画やマニュアルが作成されていることを知ってもらうだけでなく計画に沿った行動がされるよう、広報活動の充実等効果的なPRも含めた取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問4 あなたは、防犯対策のために区と地域団体が協働しながら取り組んでいる「区民啓発パトロール隊」や「ひったくり防止カバー・二重ロック・防犯啓発のぼり等の設置」等の取組が、街頭犯罪発生件数の減少に役立っていると思いますか。(1つ選んでください)

1. 役立っていると思う【112】 2. どちらかといえば役立っていると思う【158】
 3. 役立っているとは思わない【32】 4. わからない【40】 無回答【1】

n=343



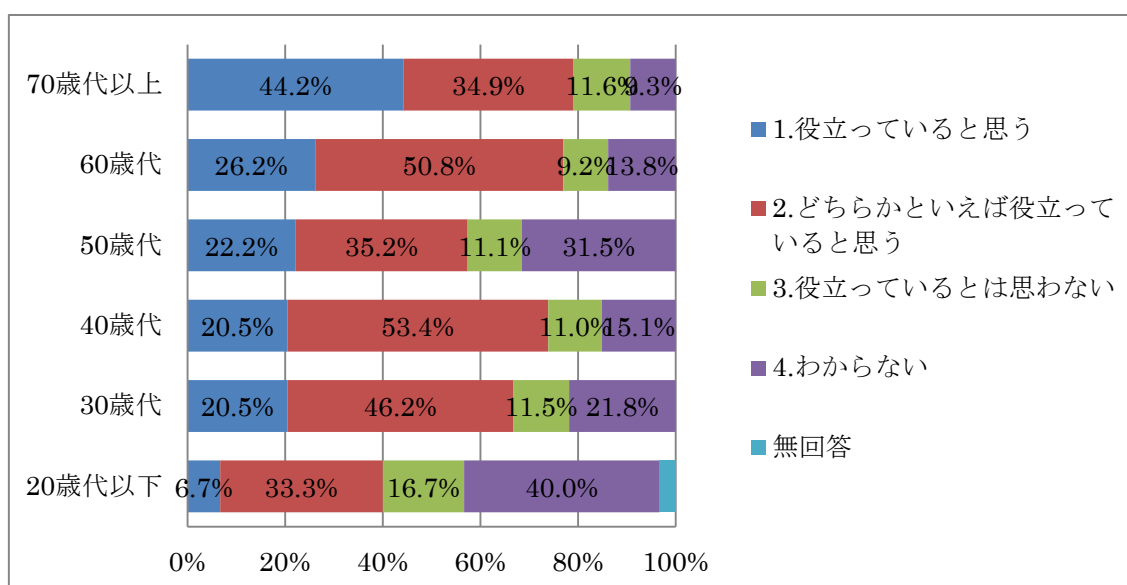
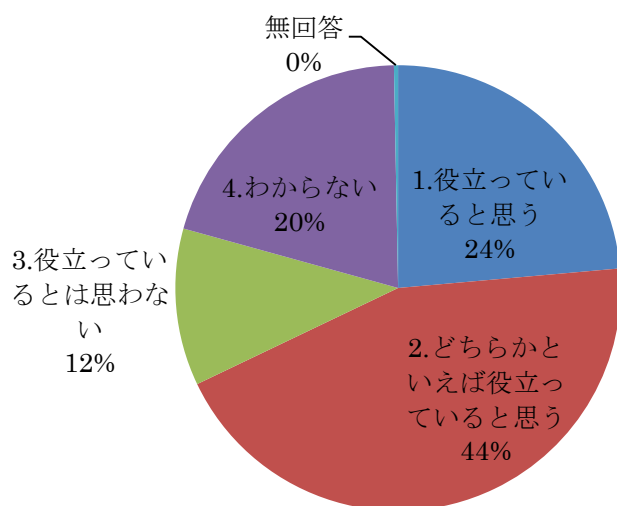
【分析・コメント】

- 肯定的意見（「役立っていると思う」「どちらかというと役立っていると思う」）の割合は78.8%となっています。
- 年代別にみると、「20歳代以下」における肯定的意見の割合が、他の年代と比べてとくに小さくなっています。
- 今後、防犯対策の取組が幅広い世代に受け容れられるよう、とくに若い世代に向けた効果的な広報等PRを含めた取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問5 あなたは、防犯対策のため区や団体で取り組んでいる「青色防犯パトロール」が、街頭犯罪発生件数の減少に役立っていると思いますか。(1つ選んでください)

1. 役立っていると思う【81】 2. どちらかといえば役立っていると思う【152】
 3. 役立っているとは思わない【39】 4. わからない【70】 無回答【1】

n=343



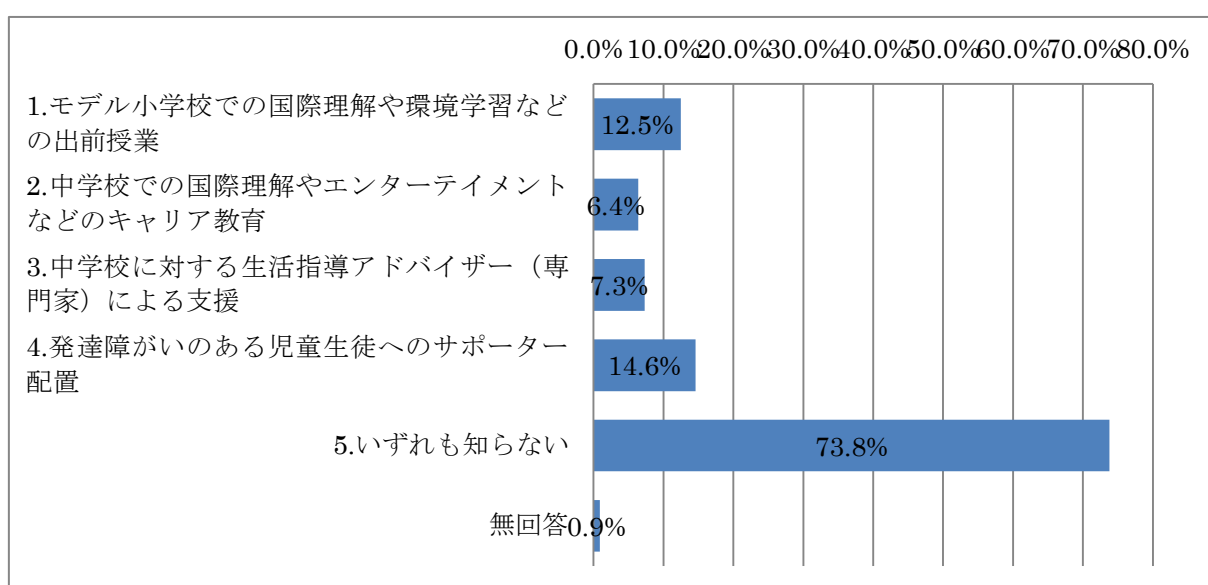
【分析・コメント】

- 肯定的意見（「役立っていると思う」「どちらかという役立っていると思う」）は **67.9%** となっています。
- 年代別にみると、「50 歳代」を除き、年代が高くなるほど肯定的意見の割合は大きくなっています。一方、「20 歳代以下」においてとくに小さくなっていることから、50 歳代及び 20 歳代以下の年代において防犯に対する関心比較的低いことがうかがえます。
- 今後、幅広い世代における防犯意識を高めるため、広報活動の充実等効果的な PR も含めた取組を実施する必要があります。

Ⅱ 魅力あるまちづくりについて

問6 此花区では、子どもたちの未来のために、小中学校への教育支援に関する次のような取組を実施しています。ご存知の取組は次のうちどれですか。
(複数回答可)

1. モデル小学校での国際理解や環境学習などの出前授業【43】
2. 中学校での国際理解やエンターテインメントなどのキャリア教育【22】
3. 中学校に対する生活指導アドバイザー（専門家）による支援【25】
4. 発達障がいのある児童制度へのサポーター配置【50】
5. いずれも知らない【253】 無回答【3】 n=343

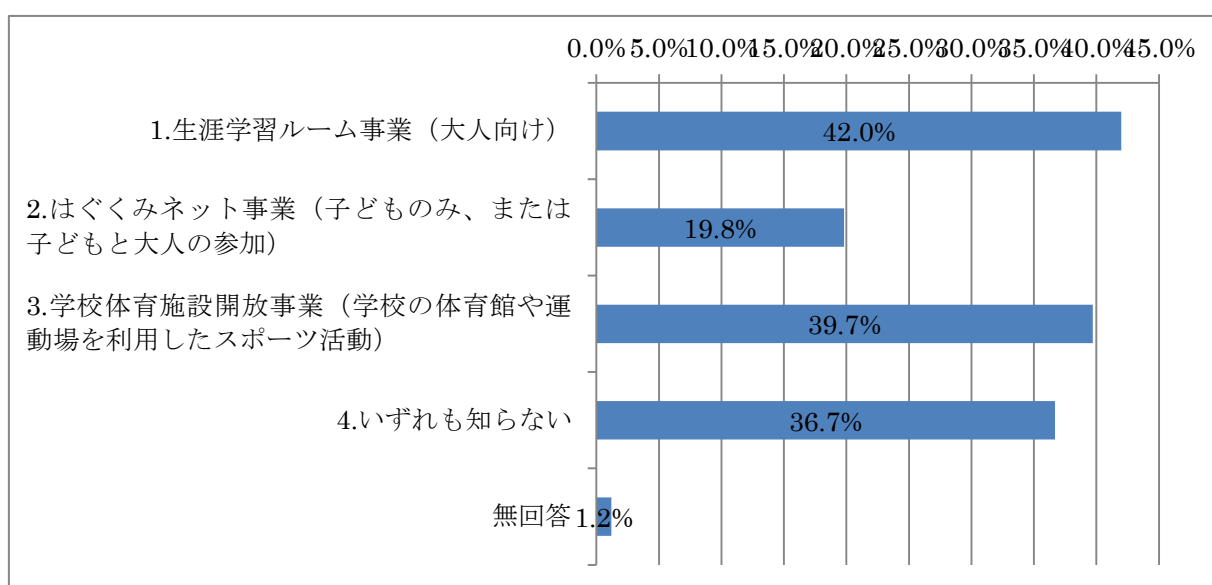


【分析・コメント】

- ・ 「いずれも知らない」の割合が73.8%と最も大きいことから、本取組の認知度が低いといえます。
- ・ 今後、小中学校への教育支援に関する取組の認知度を高めるため、学校とも連携しながら効果的なPRも含めた事業内容を検討し、さらに推進していく必要があります。

問7 此花区では、小学校を核とした生涯学習ルーム事業（大人向け）、はぐくみネット事業（子どものみ、もしくは子どもと大人の参加）や学校体育施設開放事業（学校の体育館や運動場を利用したスポーツ活動）を実施しています。ご存知の取組は次のうちどれですか。（複数回答可）

1. 生涯学習ルーム事業（大人向け）【144】
 2. はぐくみネット事業（子どものみ、または子どもと大人の参加）【68】
 3. 学校体育施設開放事業（学校の体育館や運動場を利用したスポーツ活動）【136】
 4. いずれも知らない【126】 無回答【4】
- n=343



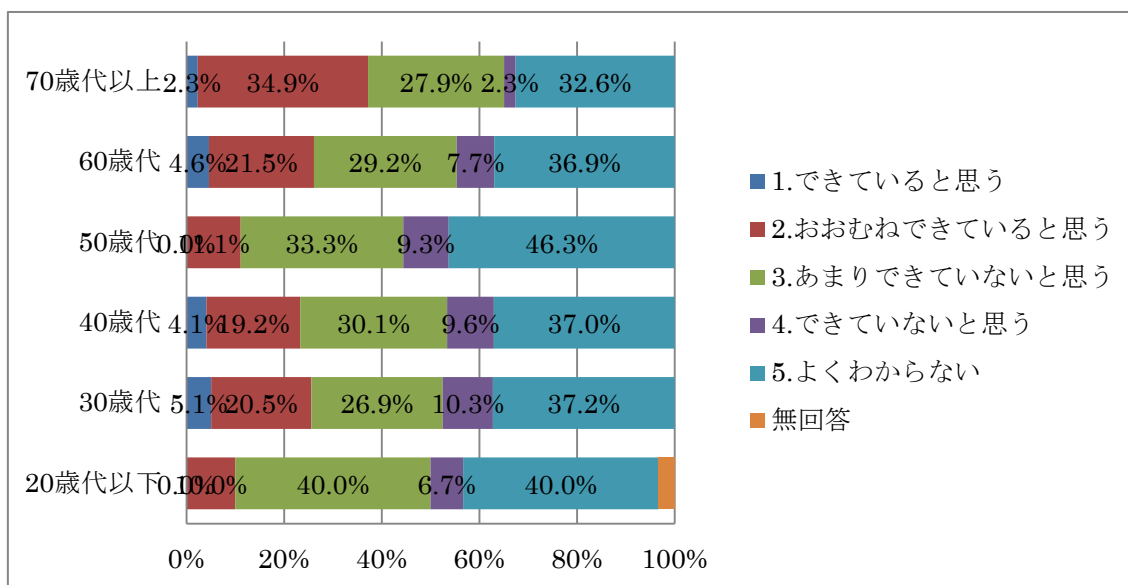
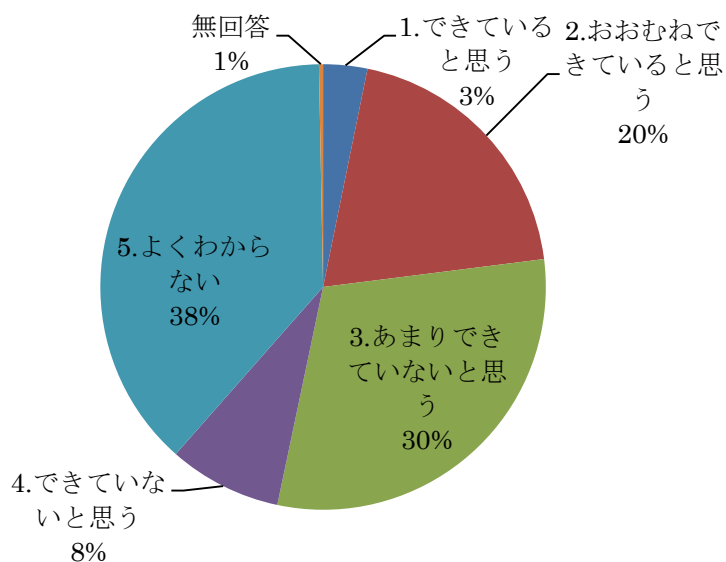
【分析・コメント】

- ・ 「生涯学習ルーム事業」の割合が42.0%と最も大きく、次いで「学校体育施設開放事業」の割合が39.7%となっています。また、「いずれも知らない」の割合が36.7%となっています。
- ・ 地域、学校、家庭のネットワークの中で、事業を効果的に展開するため、地域活動協議会における活動とも連携しながら、効果的なPRを検討し、実践的な教育環境づくりに向けてさらに推進していく必要があります。

問8 あなたは、地域・家庭・学校が連携して一体となった教育コミュニティづくりができていますか。(1つ選んでください)

1. できていると思う【11】 2. 概ねできていると思う【68】
 3. あまりできていないと思う【104】 4. できていないと思う【28】
 無回答【1】

n=343



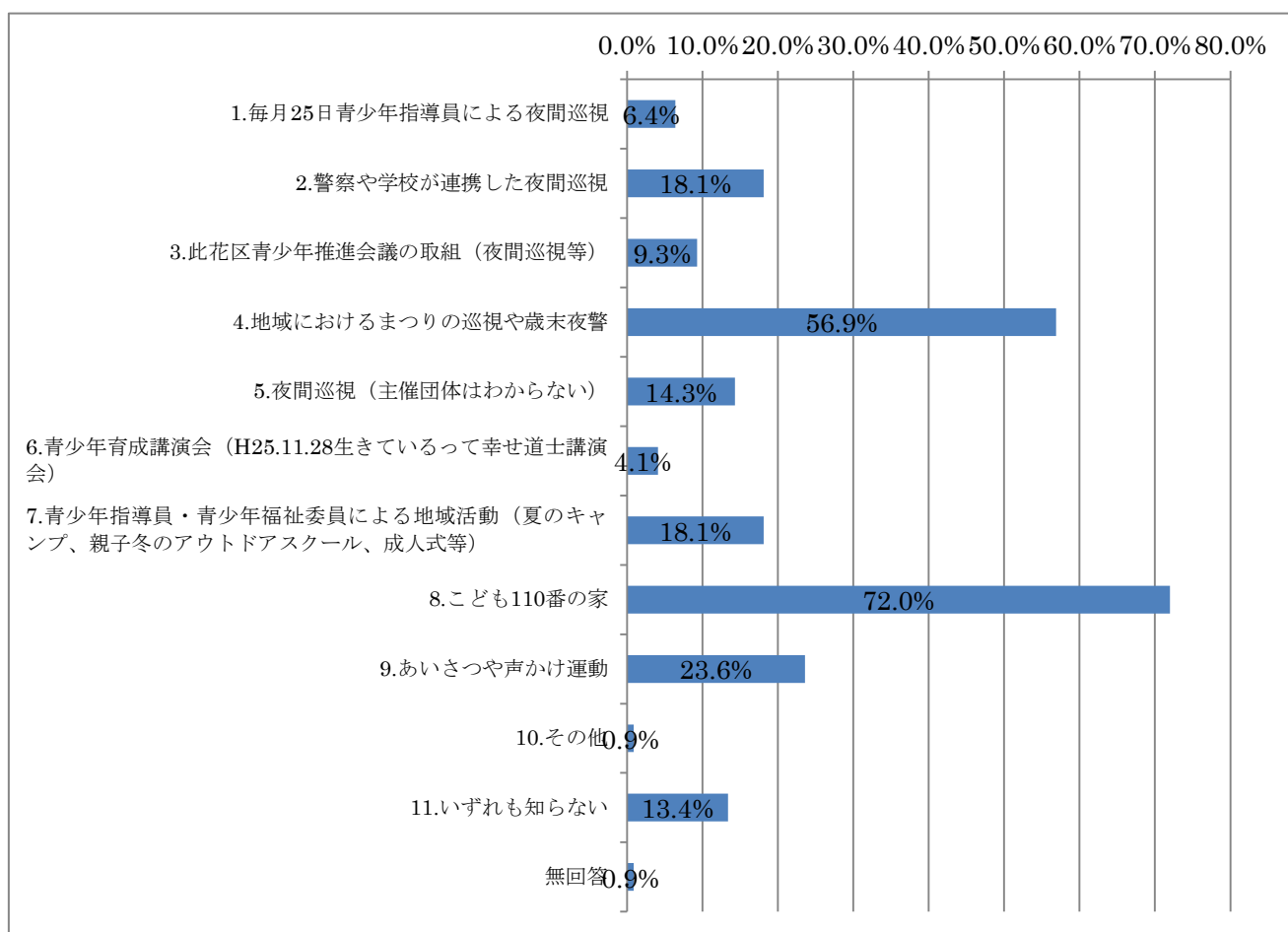
【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「できていると思う」「おおむねできていると思う」）の割合は 23.0%となっている一方、「あまりできていないと思う」と「できていないと思う」を合わせた割合は 38.5%となっています。
- ・ 問7の結果から各々の事業の認知度は比較的高いものの、事業の目的等が知られていないことが伺えます。
- ・ 今後、地域・学校・家庭が連携して一体となった教育コミュニティづくりに向けて、事業の目的等がより区民に認知されるよう、効果的なPRも含めた取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問9 此花区では、青少年の非行防止と健全育成を図るため、次のような取組を実施しています。ご存知の取組は次のうちどれですか。（複数回答可）

1. 毎月25日青少年指導員による夜間巡視【22】
2. 警察や学校が連携した夜間巡視【62】
3. 此花区青少年推進会議の取組（夜間巡視等）【32】
4. 地域におけるまつりの巡視や歳末夜警【195】
5. 夜間巡視（主催団体はわからない）【49】
6. 青少年育成講演会（H25.11.28 生きているって幸せ 道士講演会）【14】
7. 青少年指導員・青少年福祉委員による地域活動（夏のキャンプ、親子冬のアウトドアスクール、成人式等）【62】
8. こども110番の家【247】
9. あいさつや声かけ運動【81】
10. その他【3】
11. いずれも知らない【46】

n=343

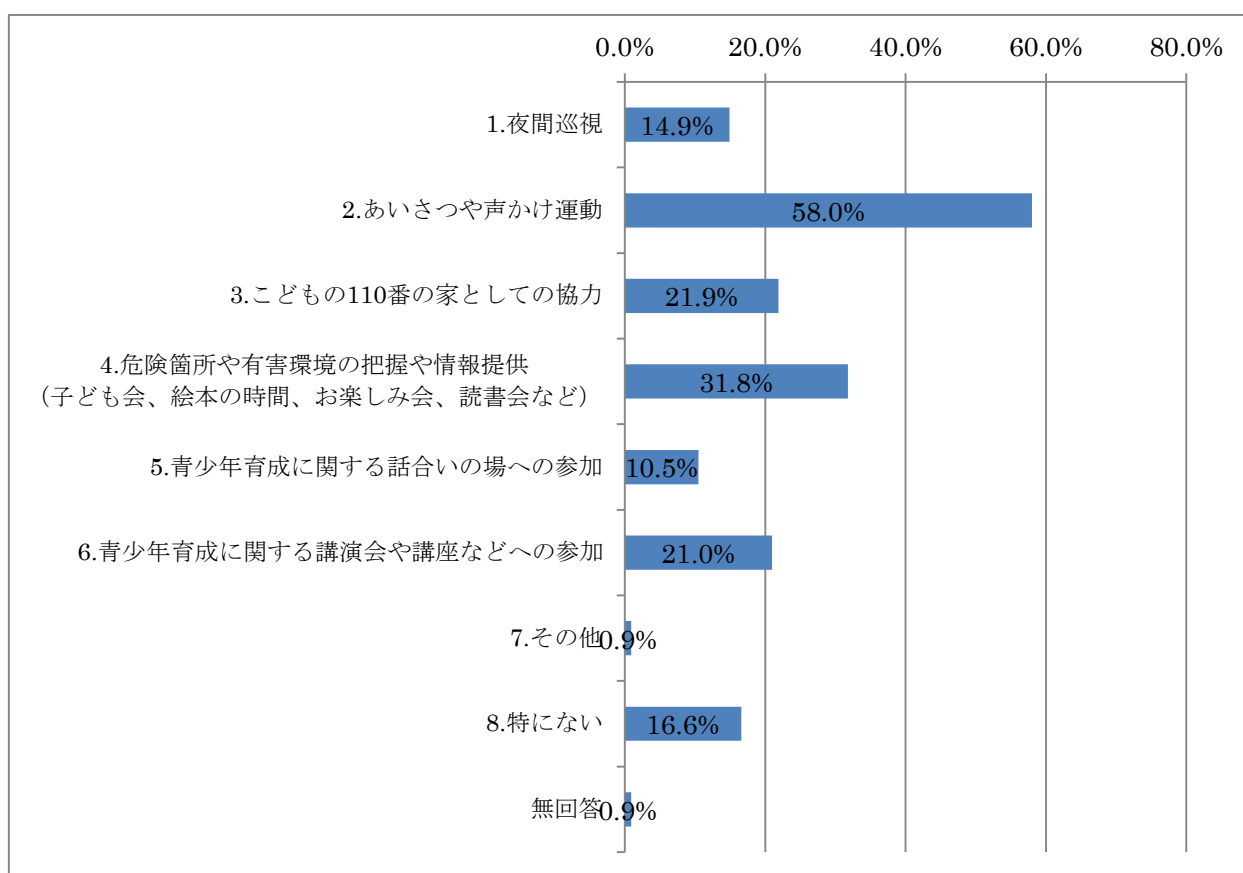


【分析・コメント】

- ご存知の取組のうち「こども 110 番の家」の割合が 72.0%と最も大きく、次いで「地域におけるまつりの巡視や歳末夜警」の割合が 56.9%となっており、肯定的意見が 2 割を切るその他の取組との差が顕著に表れています。
- なお、「いずれも知らない」の割合が 13.4%にとどまっており、このことから、青少年非行防止と健全育成に関する取組が地域に根付いてきているといえます。
- 今後、引き続き効果的な P R も含めた取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問 10 青少年健全育成を行っていく上で、あなたができる（できそうな）活動は、次のうちどれですか。（複数回答可）

1. 夜間巡視【51】 2. あいさつや声かけ運動【199】
 3. こども 110 番の家としての協力【75】
 4. 危険箇所や有害環境の把握や情報提供【109】
 5. 青少年育成に関する話合いの場への参加【36】
 6. 青少年育成に関する講演会や講座などへの参加【72】
 7. その他【3】 8. 特にない【57】 無回答【3】 n=343

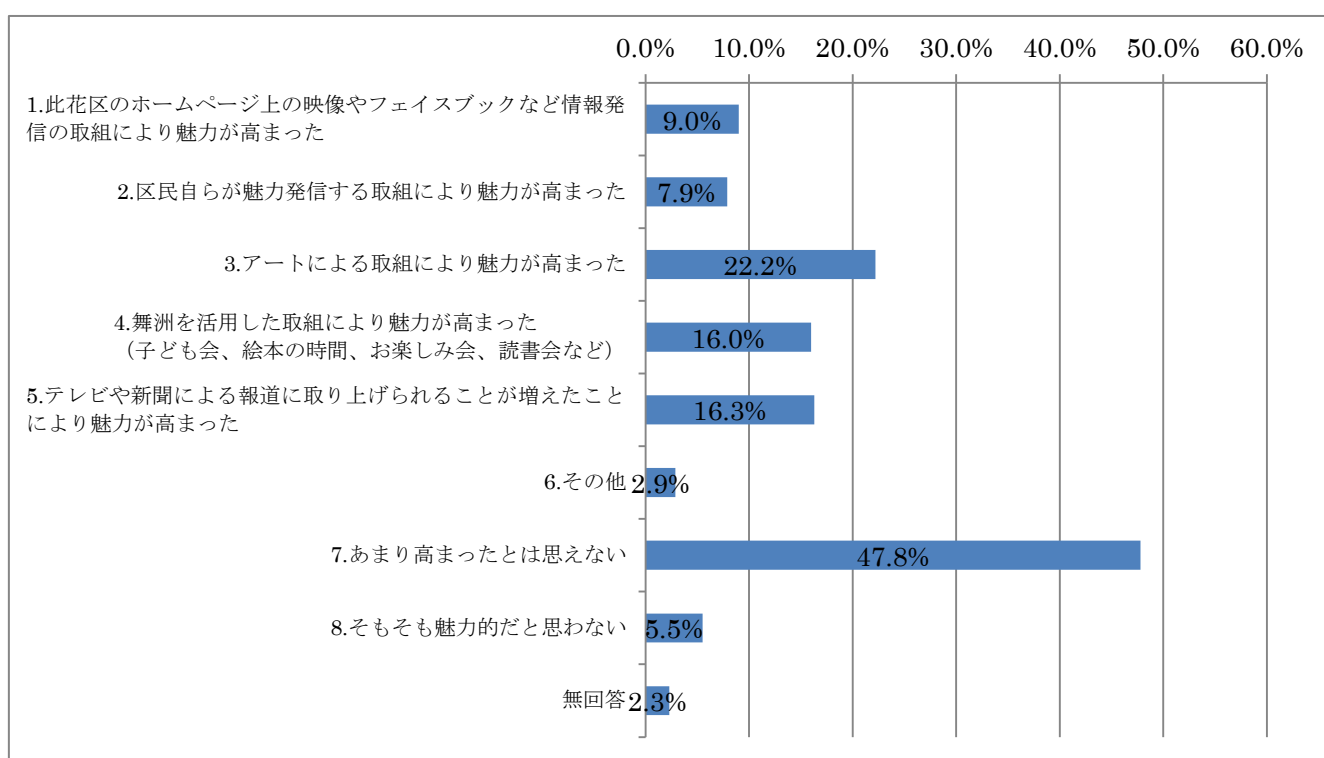


【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見のうち「あいさつや声かけ運動」の割合が 58.0%と最も大きくなっており、その他の取組との差が顕著に表れていることから、「あいさつや声かけ運動」が区民にとって身近にできる取り組みとの理解を得ていると言えます。
- ・ また、16.6%の方が「特にない」と回答していることを踏まえ、さらなる青少年健全育成に向けて、今後、より地域に根付いた活動を推進していく必要があります。

問 11 此花区内の魅力は1年前より高まっていると思いますか。(1～6まで複数回答可)

1. 此花区のホームページ上の映像やフェイスブックなど情報発信の取組により魅力が高まった【31】
 2. 区民自らが魅力発信する取組により魅力が高まった【27】
 3. アートによる取組により魅力が高まった【76】
 4. 舞洲を活用した取組により魅力が高まった【55】
 5. テレビや新聞による報道に取り上げられることが増えたことにより魅力が高まった【56】
 6. その他【10】
 7. あまり高まったとは思えない【164】
 8. そもそも魅力的だと思わない【19】
- 無回答【8】 n=343

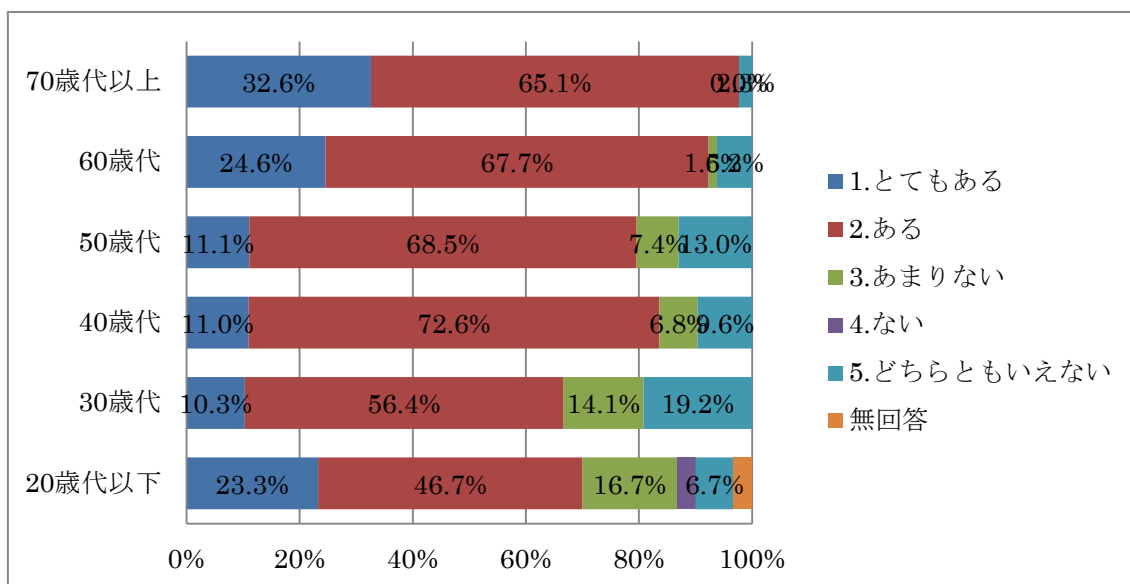
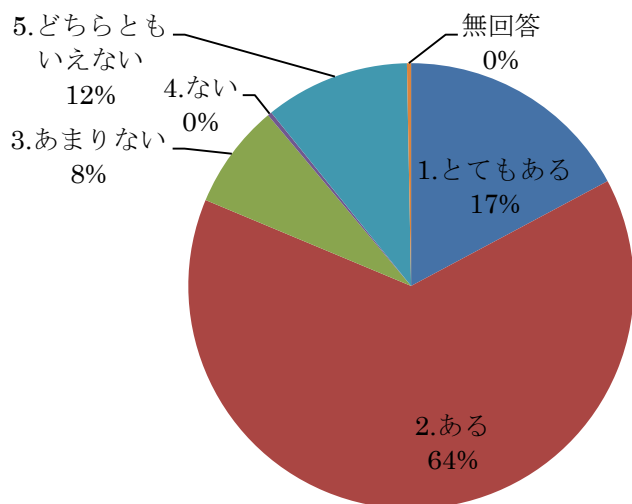


【分析・コメント】

- ・ 此花区内の魅力が1年前より高まったとする肯定的意見のうち「アートによる取組」の割合が22.2%と最も大きくなっており、次いで「テレビや新聞による報道」の16.3%、「舞洲を活用した取組」の16.0%の順となっています。一方、「あまり高まったとは思えない」の割合が最も大きく47.8%となっています。
- ・ 概ね2人に1人はまだまだ区内の魅力が高まったとは思えないと考えていることから、自分の住むまちに誇りと愛着をもてるような状態をつくっていくためには、このはなの魅力や可能性を最大限に活かした地域活力の創出に向けた取組みをさらに推進していく必要があります。

問 12 あなたは、環境問題への関心やまちを美しくする意識がありますか。(1つ選んでください)

1. とてもある【59】 2. ある【220】 3. あまりない【26】 4. ない【1】
 5. どちらともいえない【36】 無回答【1】 n=343

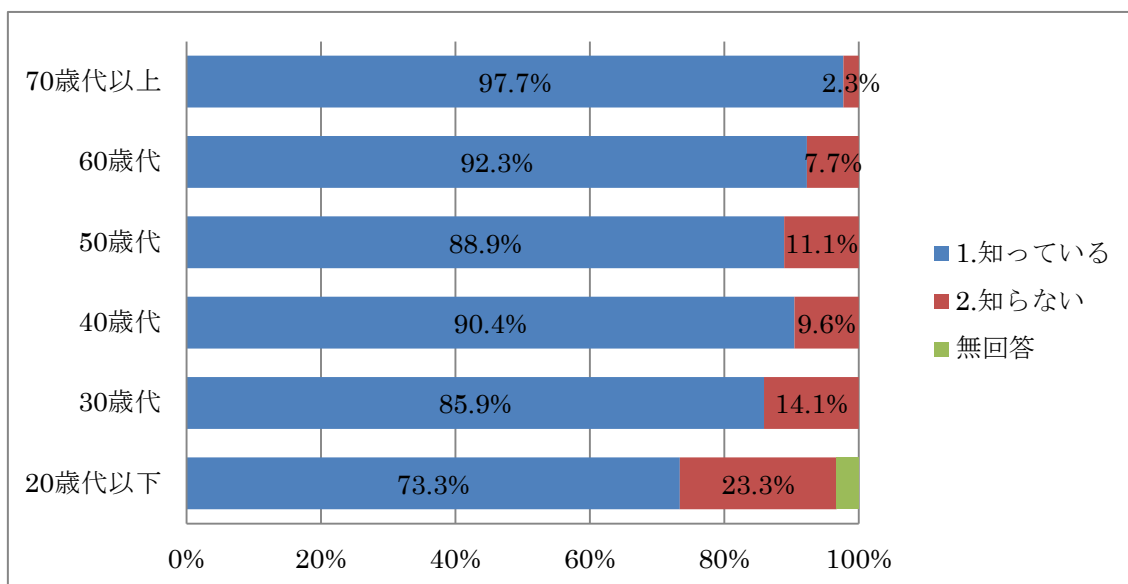
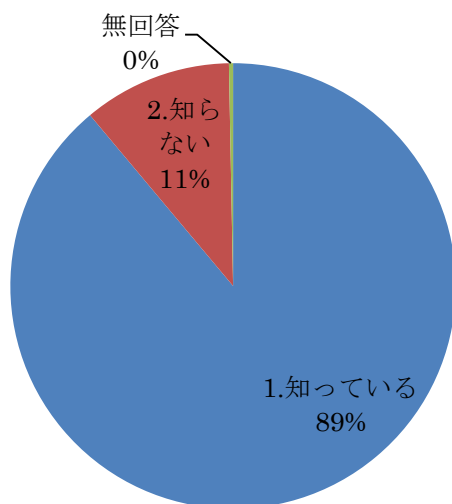


【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「とてもある」「ある」）の割合は81.3%となっており、「あまりない」と「ない」を合わせた割合の7.9%を大きく上回っています。
- ・ 肯定的な意見の割合が、否定的な意見の割合を上回っており、区民の環境への関心は高いことがうかがえます。
- ・ 今後、区民の環境への関心の高さを維持し実践につなげるため、効果的な取組を検討し、推進していく必要があります。

問 13 ゴーヤ等を活用した壁面緑化によって、夏場の室内温度の上昇が抑えられ、エアコン等にかかる光熱費の節約につながることをご存知ですか。(1つ選んでください)

1. 知っている【305】 2. 知らない【37】 無回答【1】 n=343

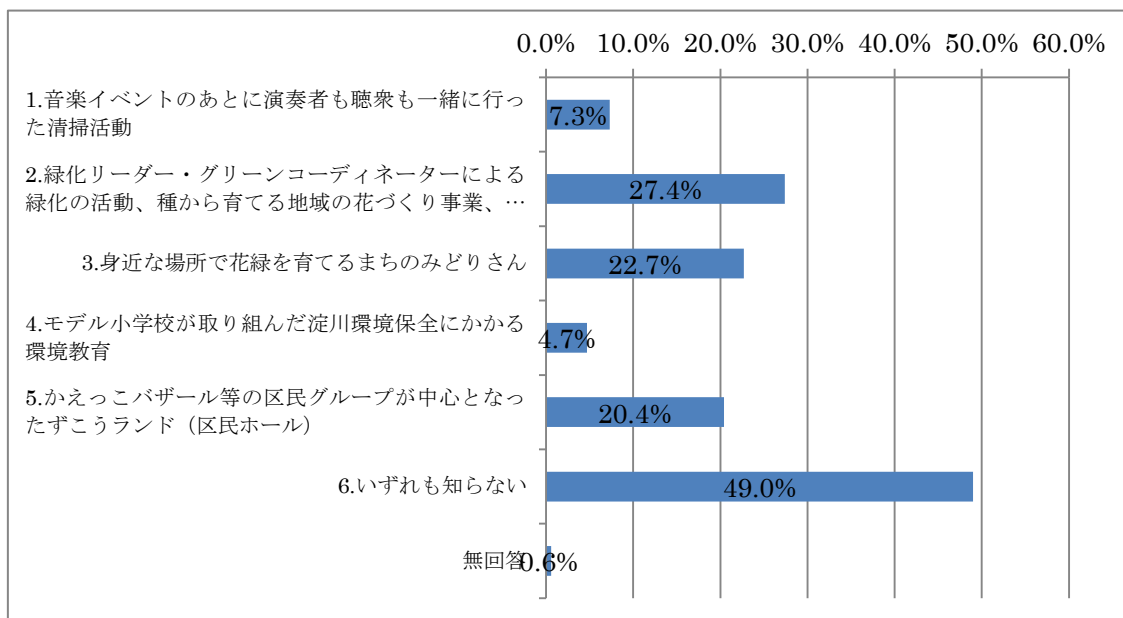


【分析・コメント】

- 肯定的意見（「知っている」）の割合は 88.9%となっており、「知らない」の 10.8%を大きく上回っています。
- 年代別にみると、年代が上がるほど肯定的意見（「知っている」）の割合が大きくなる傾向となっています。
- いずれの年代においても肯定的意見が大きな割合を占めていますが、「30 歳代」以下においてその割合が比較的小さいことから、今後、若い世代への効果的な啓発方法について検討し、実施する必要があります。

問 14 此花区では、まちの美化など環境問題に関心を高めるため次のような取組を行っています。ご存知の取組は次のうちどれですか。(複数回答可)

1. 音楽イベントのあとに演奏者も聴衆も一緒に行った清掃活動【25】
 2. 緑化リーダー・グリーンコーディネーターによる緑化の活動、種から育てる地域の花づくり事業、緑化相談【94】
 3. 身近な場所で花緑を育てるまちのみどりさん【78】
 4. モデル小学校が取り組んだ淀川環境保全にかかる環境教育【16】
 5. かえっこバザール等の区民グループが中心となつたずこうランド(区民ホール)【70】
 6. いずれも知らない【168】 無回答【2】
- n=343



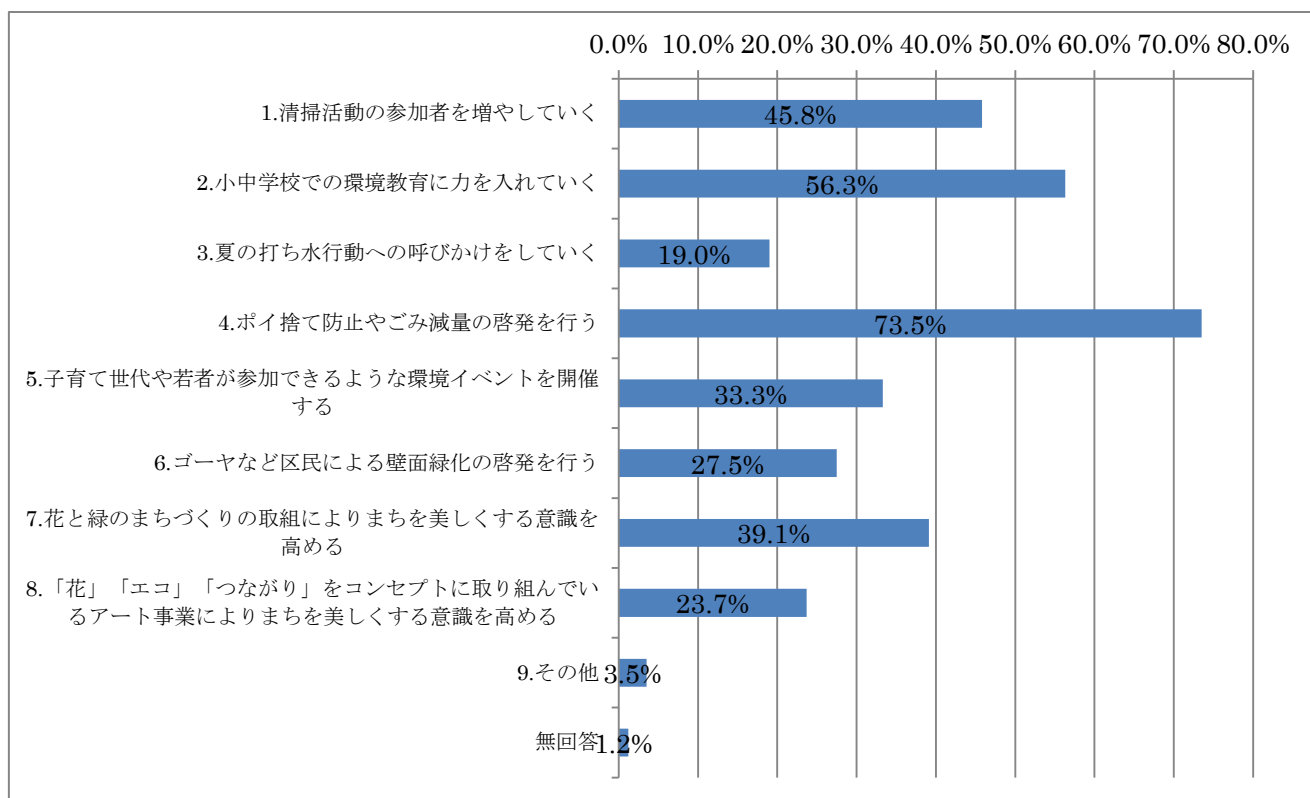
【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見のうち「緑化リーダー・グリーンコーディネーターによる緑化の活動・種から育てる地域の花づくり事業、緑化相談」の割合が最も大きく27.4%となり、次いで「身近な場所で花緑を育てるまちのみどりさん」の22.7%となっています。
- ・ 一方、「いずれも知らない」の割合は49.0%となっています。
- ・ 日常的に身近にできる取組に対する認知度が比較的高いことがうかがえます。一方、「いずれも知らない」が5割近くを占めています。
- ・ 今後、一人ひとりが環境問題に関心を持てるようにするため、効果的なPRも含めた様々な取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問 15 まちの美化など環境問題の関心を高めるためにはどのような取組をすべきと思いますか。(複数回答可)

1. 清掃活動の参加者を増やしていく【157】
2. 小中学校での環境教育に力を入れていく【193】
3. 夏の打ち水行動への呼びかけをしていく【65】
4. ポイ捨て防止やごみ減量の啓発を行う【252】
5. 子育て世代や若者が参加できるような環境イベントを開催する【114】
6. ゴーヤなど区民による壁面緑化の啓発を行う【94】
7. 花と緑のまちづくりの取組によりまちを美しくする意識を高める【134】
8. 「花」「エコ」「つながり」をコンセプトに取り組んでいるアート事業によりまちを美しくする意識を高める【81】
9. その他【12】 無回答【4】

n=343

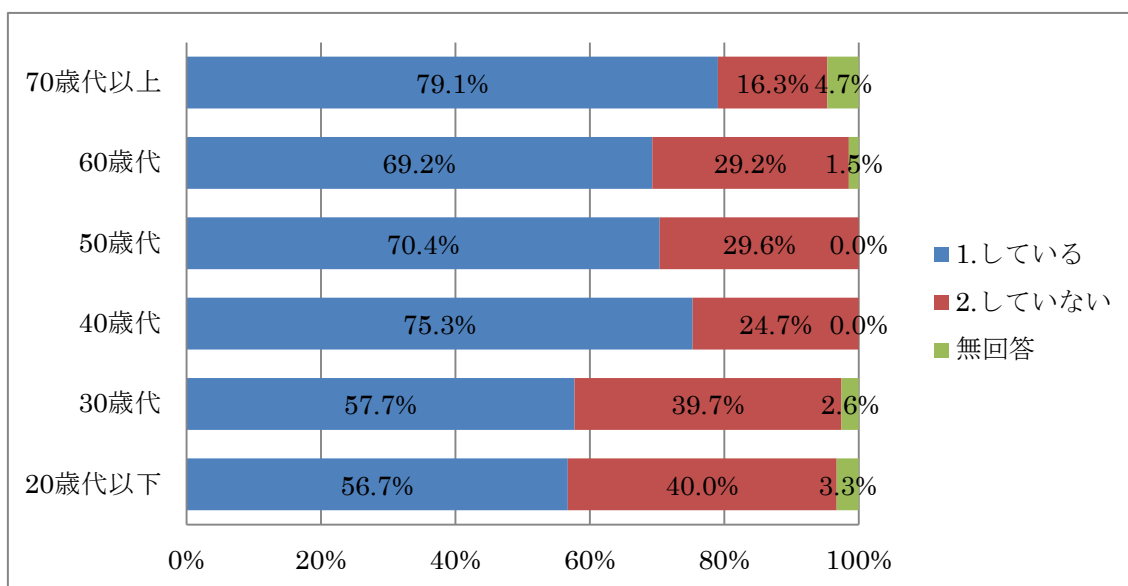
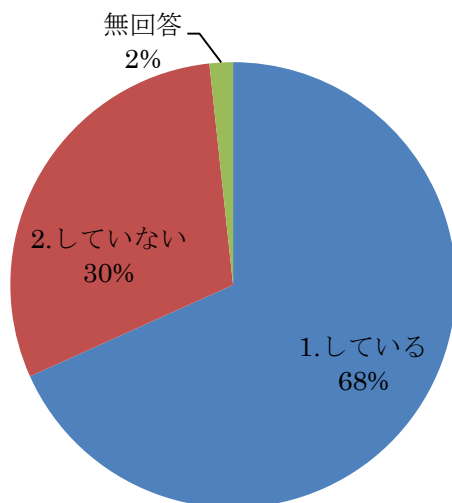


【分析・コメント】

- 「ポイ捨て防止やごみ減量の啓発」の割合が最も大きく 73.5%となり、次いで「小中学校での環境教育に力を入れていく」の 56.3%、「清掃活動の参加者を増やしていく」の 45.8%の順となっています。
- 日常的に身近にできる取組や環境教育に関する取組に対する関心が比較的高いといえます。
- 今後、環境に対する関心をさらに高め、より多くの実践につなげるため、様々な効果的な取組を検討し、さらに推進していく必要があります。

問 16 あなたは、環境への負荷を軽減する取組を実践していますか。(1つ選んでください)

1. している【234】 2. していない【103】 無回答【6】 n=343



【分析・コメント】

- ・ 肯定的意見（「している」）の割合は 68.2%となっている一方、「していない」の割合は 30.0%となっています。
- ・ 年代別にみると、この割合が最も小さいのは「20歳代以下」（56.7%）、次いで「30歳代」（57.7%）となっており、若い世代における割合が比較的小さくなっています。
- ・ 今後、若い世代に対する効果的なPRを含めた事業を検討し、実施する必要があります。